6 **第六段**　結

桜はすっかり散っていた

「魅入られたね」（受動態）

人魚をはっきりと思い出せなかった
桜が散る様子を克明に覚えている

あの言葉「離さない」

黙ってコーヒーをすすった
（執着＝魅了の共有者同士）

←

離さないでいるだけの強さがない
（人間性を失う恐怖に耐えられない）
（人魚を帰せた理由）

若葉が芽吹いていた
風が新緑を揺らしていた
（時間の経過、桜の幻想の終わり）